

令和7年度第1回障害保健福祉施策連絡会会議録

1 開催日時

令和7年8月14日（木） 午前10時から午前11時30分まで

2 開催方法

対面（傍聴のみオンライン）

3 出席状況

団体名	氏名
浜松市浜松手をつなぐ育成会	水崎 裕久 伊藤 幸枝 小田 史子
特定非営利活動法人 浜松地区肢体不自由児親の会	欠席
特定非営利活動法人 浜松地区精神保健福祉会 明生会	赤池 千明
浜松市視覚障害者福祉協会	安松 和男 大橋 三恵子 鈴木 悦子
アクティブ	奈良 志保 浅井 陽子
浜松の福祉を考える会	矢島 利充 小田木 一真
浜松ろうあ協会	伊藤 行夫 堀尾 喜子 藤森 晃子
浜松市浜北手をつなぐ育成会	伊藤 基久
ぞうさんの会	清水 恵美 清水 加奈 増井 けさみ
浜松市身体障害者福祉協議会	平野 茂雅
静岡県重症心身障害児（者）を守る会	白柳 圭子 青山 美輝 大山 智弘
浜松市障がい者基幹相談支援センター	後藤 翔一朗

(事務局 障害保健福祉課)

障害保健福祉課 課長	柴田 多美子
障害保健福祉課 精神保健福祉担当課長	鈴木 勝久
障害保健福祉課 課長補佐	大庭 靖史
障害保健福祉課 総務調整 G	高橋 彩乃
障害保健福祉課 指導 G	吉田 直樹
障害保健福祉課 給付 G	飯塚 康敬
障害保健福祉課 手当助成 G	内藤 淳
障害保健福祉課 地域生活支援 G	中谷 圭介
障害保健福祉課 精神保健 G	欠席
障害保健福祉課 地域生活支援 G	鈴木 史哉
障害保健福祉課 地域生活支援 G	白柳 麻衣子

4 議 事 内 容

(1) 意見交換

5 記 録 の 方 法

発言者の要点記録

6 会 議 記 録

(1) 浜松市障がい者自立支援協議会市全体会委員について

<事務局>

- ・ 浜松市障がい者自立支援協議会市全体会の委員について、現在、浜松市浜松手をつなぐ育成会から小出様に出席いただいているが、小出様が退任されることに伴い、同団体の水崎様を選出したい。意見があれば発言いただきたい。

<出席者>

- ・ 意見なし。

<事務局>

- ・ 当事者部会から浜松市浜松手をつなぐ育成会の水崎様を浜松市障がい者自立支援協議会市全体会の委員に選出させていただく。

(2) 外出支援事業について

<浜松市視覚障害者福祉協会 安松氏>

- ・ 静岡県が行っている同行援護従事者研修を浜松市でも実施してほしい。また、同行援護について、事業所では事業縮小する傾向が見られるため、市と同行援護サービスを提供している事業所が連携して、サービス提供できる体制を確保するために利用者と事業所が話し合いをできる場を整えてほしい。

<事務局>

- ・ 静岡県から指定を受けた企業が、同行援護従事者養成研修を浜松市でも開催している。今後、市が主催していくかどうかについては、今回の意見を元に検討していく。また、同行援護の土日夜間の利用等の問題についても利用者と事業所が話し合える場を検討していく。

<浜松の福祉を考える会 矢島氏>

- ・ 外出支援助成券について、区分が B2、B3 の人は対象外となり、かつ障害者施設交通費においても区分が B2、B3 で徒歩や自転車で通っている方は対象外となっている。こちらについて見直しをしていただきたい。

<事務局>

- ・ いただいた意見を元に検討していく。

<浜松市浜松手をつなぐ育成会 小田氏>

- ・ 外出助成券について、自動車税の減免を受けている方は対象外であるという線引きは厳しいところがある。また、外出するにあたり、障害者には付き添いの支援が必要で、ヘルパー等の運賃もかかる。社会参加促進を目的とするのであれば、もっと社会に参加できるよう応援してもらえるとありがたい。

<事務局>

- ・ いただいた意見を元に検討していく。

<浜松市視覚障害者福祉協会 大橋氏>

- ・ 令和 5 年からタクシー券がもらえなくなり、非常に不便であった。家族等が車を持っている世帯では、移動については家族が負担をしてくれているが、突発的に移動ができないため、制限を感じている。社会参加のために助成の見直しをしていただきたい。

<浜松ろうあ協会 伊藤氏>

- ・ 障害を持っている人同士で集まり、情報交換することが重要である。家族が車を持っている世帯でも自由に外出できるわけではないため、自動車の減免受けている世帯についても助成をいただけるよう見直しをしていただきたい。

<事務局>

- ・ いただいた意見を元に検討していく。

<浜松市身体障害者福祉協議会 平野氏>

- ・ 軽自動車税の減免申請について、浜松市では毎年手続きが必要であるが、初回に手続きを行った以降の年は更新はがき等による確認手続きだけで済むように事務の見直しをしていただきたい。

<浜松市浜松手をつなぐ育成会 伊藤氏>

- ・ 重度の知的障害を持っている方の外出については家族ではなくヘルパー同伴での外出の体験が重要である。家族が車を持っており減免申請を受けている場合は対象外となっているが家族以外の方との外出経験が重要となるため、家族が減免申請を受けている方の分についても助成をしていただきたい。

<アクティブ 浅井氏>

- ・ 外出支援事業について、未申請者が対象者数の約半数となっている。こちらにつ

いては、申請対象外となっている方が入っていない中での数値となっているため、そちらも踏まえての数値の分析が必要ではないか。

<浜松の福祉を考える会 小田木氏>

- ・ 重度の障害を持っている方については、外出にあたりヘルパーが2人体制でない
と外出ができない方もいる。公共料金の減免についても1人までしか対象となら
ない。その点について他市の取組を踏まえて、2人分減免いただけるよう検討い
ただきたい。

<事務局>

- ・ 外出支援事業については、いただいた意見を踏まえて検討していく。公共料金の
減免については、担当部署に連携させていただく。

(4) 委託相談評価第三者評価について

<浜松市障がい者基幹相談支援センター 後藤氏>

- ・ 今年度、障がい者相談支援センターについて第三者評価の年度となる。関わりの
あるセンターについて、意見をいただきたいので、ご協力いただきたい。

<事務局>

- ・ 委託相談評価について、団体代表者様宛に別途、依頼の通知を送付させていただ
くので、通知が届いたら、団体内への周知等ご協力をお願いしたい。

(5) 意見交換について

<浜松市身体障害者福祉協議会 平野氏>

- ・ 避難行動要支援者名簿への登録申請については、本人が窓口に行って登録するの
か。また、登録方法は福祉のしおりに記載はされているか。

<事務局>

- ・ 避難行動要支援者名簿への登録については、本人、ご家族、支援者が窓口で申請
することで登録可能となっている。福祉のしおりについても記載している。

<浜松ろうあ協会 堀尾氏>

- ・ 福祉避難所がどこにあるか把握できない。どこに行けばいいのかもわからないた
め、福祉避難所がどこにあるかわかるようにしてほしい。また、災害が発生した
際に手話が出来る方が避難所にきて支援いただけるのかを知りたい。

<事務局>

- ・ 福祉避難所については、浜松市ホームページにて公開しているため、ご確認いた
だきた。また、手話対応を含めた避難所における支援の在り方について、国のガ
イドラインが改訂されたことも踏まえ、検討していく。

<浜松の福祉を考える会 矢島氏>

- ・ 災害が発生してから、避難するまでの流れについて個別避難計画に記載されるの
か。また、それはどこで確認できるようになるのか。

<事務局>

- ・ 避難の流れについては障害の有無に関わらずマイタイムラインを活用していきたいと考えている。こちらについては、災害種別ごとにどのような動きをしたらいいかご本人や家族に検討してもらうもので、そこに加えて一人では避難が難しい方の場合、個別避難計画を作成し、避難に活用できるよう検討している。

<浜松市視覚障害者協会 大橋氏>

- ・ 視覚障害を持っている人は、災害発生時に避難場所に移動すること自体に不安を持っている。また、避難場所から福祉避難所に避難する際に、スムーズに移動ができるかについても不安がある。市と県で事前に連携を取って、スムーズに移動できるようにしていただきたい。

<事務局>

- ・ 避難場所での支援の在り方や、福祉避難所の在り方については、施設と連絡を調整していく。有事の際には、事前に取り決めを行っている方法で連絡を取り合う流れとなる。

<浜松市浜北手をつなぐ育成会 伊藤氏>

- ・ 重度の方については一次避難所に行けないことも想定されるため、あらかじめ想定される福祉避難所と障がい者をマッチングし、対象者に対し情報共有を行うことは可能か。

<事務局>

- ・ 重度の方においては、一次避難所に避難することが困難であることも把握しているため、対象の施設と連携して受入体制を整理していく。

<アクティブ 浅井氏>

- ・ 日常的に投薬をしており、薬が必須となっている人について、避難所生活が長引いた際の薬の確保はどのように検討しているか。

<事務局>

- ・ 現状、薬の配給について確認ができていない。当該案件について関係部局と連携し確認していく。

<浜松市視覚障害者福祉協会 安松氏>

- ・ 視覚障害を持っている方については、どこに避難すればよいか把握していない人も多い。そのため、視覚障害者の方向けに点字版や音声版についてホームページ等を活用して周知をしていただきたい。

<事務局>

- ・ マイタイムラインの活用について、点字版や音声版について確認するとともに、周知をしていきたい。

<浜松市浜北手をつなぐ育成会 伊藤氏>

- ・ 重度の知的障害の方の場合、病院に行くことが難しい現状があり、緊急のケガや発熱があった際に救急車にも乗れないような場合がある。その際の、対応や支援について適当な相談先を教えていただきたい。

<事務局>

- ・ 現状、対応できる相談先については、検討がつかないが、いただいた意見を元に

対応方法等について検討していく。

<ぞうさんの会 清水氏>

- ・ 重度の知的障害の方で、病院に中々通うことができない方について訪問診療のサービスの利用を検討してはどうか。

<浜松市浜北手をつなぐ育成会 伊藤氏>

- ・ 承知した。利用について検討していく。

<浜松市視覚障害者福祉協会>

- ・ 耳で聴くハザードマップについての講習が浜松市でもあれば受講したいが、開催しているか。

<事務局>

- ・ 浜松市では開催していないが、要望を踏まえて検討していく。

<静岡県重症心身障害児（者）を守る会 白柳氏>

- ・ 重度の障害がある方だと、福祉タクシーでの移動が厳しい現状がある。外出支援の中では、ヘルパーの利用について制限があるため、ヘルパー利用時の助成等に利用できるとうい。

<静岡県重症心身障害児（者）を守る会 青山氏>

- ・ 外出支援事業について、外出することだけでなく、外出した先で何ができるかが重要であるとする。施設等における環境の整備についても検討し、改善いただきたい。

<静岡県重症心身障害児（者）を守る会 大山氏>

- ・ 今回、初めて障害福祉施策連絡会に参加したが、他の障害種別の意見を聞く機会が今までなかったため、いい機会であったと感じる。今後は、他障害種別の方とも意見交換をしていきたい。

<事務局>

- ・ 外出支援事業については、いただいた意見を元に検討していく。

<浜松ろうあ協会 藤森氏>

- ・ 浜松市障害福祉施策連絡会に盲ろう者友の会の方も参加できるよう、検討いただきたい。

<事務局>

- ・ 盲ろう者友の会について、いただいた意見を元に検討していく。

<浜松市浜北手をつなぐ育成会 伊藤氏>

- ・ 知的障害の方が一般就労した後に、辞めざるを得なくなるケースがあると聞いている。こちらについて、様々な働き方を含めてフォローアップをしていただきたい。

<事務局>

- ・ いただいた意見を元に検討していく。